

●出題の意図

公募制推薦入試（共通）

数学Ⅰ・Aにおける基本的な概念を理解し、それらを使った基礎的な計算力と論理的思考力を身に付けているかを評価する。

このため、教科書の章末問題に近い、あるいは練習問題に近い難易度で構成されている。

学校推薦型選抜（公募）Ⅰ期 1 日目

【問題 1】は小問集合の形式で、整式の展開・因数分解、連立 1 次不等式の計算など、数学Ⅰの基礎知識とそれに基づいた計算力を問うている。

【問題 2】の 2 次関数の最大値・最小値や、【問題 3】の正弦定理を用いた図形の問題、【問題 4】の度数分布表に基づく統計の問題は教科書の章末問題に近い難易度であり、各分野の基本と論理的思考力が身に付いているかを確認している。

学校推薦型選抜（公募）Ⅱ期

【問題 1】は小問集合の形式で、根号を含む式、因数分解、1 次不等式の計算など、数学Ⅰの基礎知識とそれに基づいた計算力を問うている。

【問題 2】の 2 次関数と 1 次関数のグラフの交点や、【問題 3】の正弦定理を用いた図形の問題、【問題 4】のデータの代表値に関する問題は教科書の章末問題に近い難易度であり、各分野の基本と論理的思考力が身に付いているかを確認している。

一般入試（共通）

数学Ⅰ・Aにおける基本的な概念を理解し、それらを使った基礎的な計算力と論理的思考力を身に付けているかを評価する。また、いくつかの基本事項を組み合わせて応用的な考えができるかを問う。

このため、教科書の章末問題に近い、あるいは練習問題に近い難易度で、いくつかの基本事項の組み合わせを要する問題で構成されている。

一般選抜（前期）1 日目

【問題 1】は小問集合の形式を取り、整式の計算、不等式、実数の整数部分・小数部分など、数学Ⅰの基礎知識とそれに基づいた計算力を問うている。

【問題 2】の 2 次関数と【問題 4】の場合の数と確率は基本事項の理解を背景に、数学的思考力を問う総合的な問題である。

また、【問題 3】の正四面体における空間図形の問題は余弦定理などを応用する思考力や計算力を問う問題であり、解答の流れを掴みやすいよう誘導形式で出題されている。